

大ヶ谷戸 こだなか

大ヶ谷戸小田中町会
発行責任者 志村 勝

通常総会

平成22年度大ヶ谷戸小田中町会通常総会が、5月16日、小田中町会館で盛大に開催されました。

平成21年度事業報告と収支決算報告があり、満場一致で可決されました。

待望の新婦人部長が誕生!!

質疑応答

答の中では、「婦人部の助成金が少ないのではないか」との意見もありましたが、志村議長長（町会長）より、総会後、新婦人部長のもと、本年度の婦人部の収支予算が決まり次第、活動費の予備費から助成金を補充する予定になっている旨の説明があり、全員の承諾を得て可決されました。

◎新役員を選出

このたび、長年にわたり婦

ごあいさつ



婦人部長
齊藤 公子

このたび、婦人部長をお受けさせていただきます。1部の齊藤公子です。部長という大役をお受けし、責任の重さを痛感してい

人部長を務めてこられた齋藤美代さんの後任として、新婦人部長に齊藤公子さんが就任されました。また、会計監査に浅川勝太郎氏が就任。その他、交通委員、祭礼盆踊委員、婦人消防隊、青少年指導員などが選任されました。



告がありました。

最後に、議長より『安心・安全』な住み良い町にするには、近隣同士の協力が必要

◎平成22年度の主要行事

8月7・8日におおがやと納涼盆踊り大会、9月18・19日に関神社例大祭、10月3日に防災訓練等が予定されていることが報告されました。

◎その他・報告

新掲示板が、3部に2箇所、4部に1箇所（※既設の掲示板を取替え）設置されました。なお、総会に先立ち、去る5月3日に逝去された前会計監査の武藤慎一氏のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げました。

心の通った仲間づくりを

このたび、婦人部長をお受けさせていただきます。1部の齊藤公子です。部長という大役をお受けし、責任の重さを痛感してい

努力してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。今後とも皆さまのご協力のもと、

努力してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。今後とも皆さまのご協力のもと、



町会の主な行事予定

《平成22年》

- 7月 会報「大ヶ谷戸こだなか」発行
 - 〃 (婦)盆踊り練習(2日)
 - 〃 (子)NHK早朝ラジオ体操
- 8月 おおがやと納涼盆踊り大会
- 9月 川崎市防災訓練
 - 〃 美化運動
 - 〃 関神社例大祭
 - 〃 「敬老の日」お祝い表敬訪問
 - 〃 (す)歩く会
- 10月 赤い羽根・共同募金協力
 - 〃 (婦)共同募金街頭活動
 - 〃 中原区民祭
 - 〃 防災訓練
 - 〃 スポーツ大会
 - 〃 (す)河川敷清掃 健康講座
 - 〃 (子)ふれあい遊び(フラパン協力)
- 11月 ゴミ収集変更の説明会
 - 〃 グランアルト武蔵新城・防災訓練
 - 〃 (子)友遊ラリー(大戸地区)
 - 〃 (す)歩く会
- 12月 (す)友愛訪問
 - 〃 (子)第37回餅つき大会
 - 〃 (子)野球部・クリスマス大会
 - 〃 年末夜警巡回

《平成23年》

- 1月 会報「大ヶ谷戸こだなか」発行
 - 〃 (子)作品展(川子連主催)
 - 〃 (子)凧揚げ大会(中子連主催)
 - 〃 (す)手芸会
- 2月 役員新年研修会
 - 〃 (す)新年研修会、友愛訪問
- 3月 グラウンドゴルフ大会
 - 〃 美化運動
 - 〃 (子)子ども夢パーク(津田山)
 - 〃 (子)野球部・お別れ会
 - 〃 (す)歩く会

※(婦)=婦人部、(子)=子ども会
(す)=すみれ会
※毎月第1木曜日 役員会
※(す)毎月第3木曜日 例会・誕生会

子ども会

《平成22年度 総会を終えて》

5月20日、志村町会長出席のもと、子ども会総会を開催しました。

席上、新年度の活動計画・予算案が全員の承諾を得て可決されました。子ども会の活動を通じ、子ども達が学校生活から離れて友達同士との交流から、仲良く元気で明るく育つ場となるように、役員一同今年一年間頑張つてまいります

《曇天・寒さの中 での運動会》

今年度の運動会は、5月30日、工事のため使用できない大谷戸小学校に替わり、初めて響学校で実施しました(写真)。会場変更・寒さの影響かもしれませんが、参加者は予想(80%)より大幅に減少(60%)しました。条件の

仲良く元気で明るく



よくない中でも子ども達・来賓・保護者の皆さんに積極的に参加していただき、ありがとうございました。競技の中ではハッスル場面もあり会場は大いに盛り上がり、事故もなく終了いたしました。学校と違った競技や保護者の参加競技を取り入れていますので、今後は多くの皆さんのご参加を希望いたします。

活動だより

婦人部

2部副部長
齊藤 幸子

平成22年度総会の席で、婦人部の新部長・齊藤公子さんが紹介されました。私たち婦人部にとつて何よりも待ち望んでいたことで、婦人部一同、新部長のもとで協力しあい楽しみながら活動できたと思っております。例えば昨年の今頃、部長不在のなかでの婦人部活動がスタートし、一体どうなるのかと不安でいっぱいでした。何とか無事に1年が過ぎましたが、町会役員の方々、そして地域の方々にも沢山の迷惑をおかけしたと思

みんなで協力し楽しく活動



まだ本年度の婦人部活動の計画は決定していませんが、あ

すみれ会

すみれ会会長
黒沼 久子

すみれ会は本年、発足10周年の佳節を刻みます。町会の皆さま、会員の皆さまのご協力とご理解をいただきまして元気で活動できますことに心より感謝申し上げます。

発足10年を飾りはつらつと



本年も、町会の諸行事への協力と併せて、「お花見」に始まり、中原区老人連合会の諸行事に積極的に参加する予定です。5月17日には、中原区老連演芸大会がエポック中原で開催されました。すみれ会は「ふるさと」を合唱し拍手喝采を浴びました

このように、多様な催しに前向きに参加することで、心と体の健康を維持し、ますます若々しく生命輝く日々を過ごしてまいります。

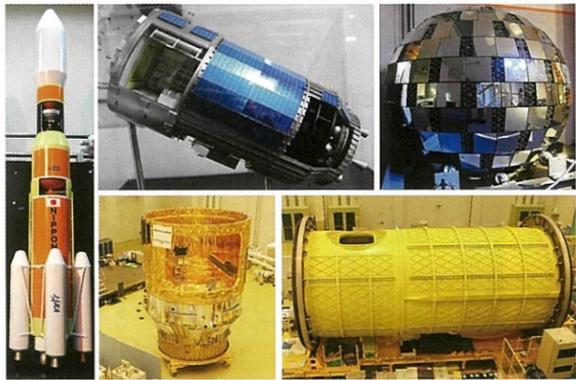
JAXA 筑波宇宙センター研修



「動く学習室」さながらのバス車内で、廃棄物減量指導員の森田美正氏（元・中原生活環境事業所所長）の担当で、明年1月から実施予定の「ミックスペーパー」（新聞紙、段ボール

【筑波宇宙センター見学】

見学前に、HIIロケットを背に、全員で記念撮影（写真①）。展示室に入ると、月周回衛星「かぐや」がお出迎え。1975年に打ち上げられたN-Iから最新のH-II Bまで



宇宙のロマンに浸る

の1/20サイズ模型も勢揃い。人工衛星やロケットエンジンの実物大モデルなどもガイドの説明を聞きながらじっくり鑑賞（写真②）。更に、国際宇



宙ステーション「きぼう」日本実験棟の模型の中の見学やロケット打ち上げ時の音響を体験するなど、宇宙旅行への夢を大きく膨らませました。



ホールインワンが10名も!

グラウンドゴルフ大会が、6月6日（日）、豊学校校庭で開催されました。参加選手は小学生から80歳代まで、過去最多の11チーム・65名でした。優勝は防衛省の橋本守氏。昨年0であったホールインワンは、小学生を含め10名も。心地よい汗をかきながら、元気いっぱいプレーでした。

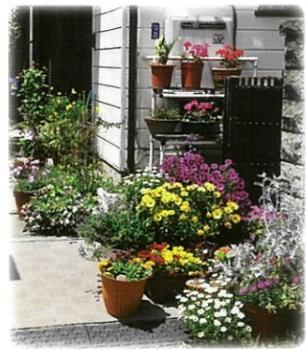
編集後記

★すみれ会は発足10年。健全なる長寿社会は地域を豊かに潤す。
★待望の新婦人部長の誕生。婦人部の力があってこそ、我が町会は活性化を増す。きめ細かな心配りが町会の発展に寄与。婦人部の皆様に感謝!!



★野球少年に夢と希望を与え続けた齊藤幸次監督。子どもを育てることは未来をつくること。長年、監督を支えてくださった「名スタッフ」のご家族とコーチに大拍手。

「野球少年に夢と希望を与え続けた齊藤幸次監督。子どもを育てることは未来をつくること。長年、監督を支えてくださった「名スタッフ」のご家族とコーチに大拍手。★きれいな町づくりは、一人一人の心からの発露で。精一杯に咲く一輪の花に幸福を感じる心こそが、人生を豊かに薫らせてくれる。



花に感謝して

私たち夫婦は散歩が日課です。四季折々の草花を眺め語り合えることは何と幸せなことでしょう。さわやかさと喜びでいっぱいです。

先日、散歩中に自宅の草花を手入れされている奥さんに「いつもきれいな花を見せてくださってありがとう」と声かけると、「私にはではなく、花に感謝して!」とほほえんでおられました。最も最愛のわが子のように心をこめ魂をこめて育てられている姿はうらわしい限りでした。

今ではつつじの花がいつぱい。その花を手入れし、清掃されている若いご婦人二人に出会いました。「ありがとう」と声をかけると、「町会の役員さんたちが率先してゴミを片づけ草を取り町をきれいにしてくださるので、私たちも見習っているんです」と笑顔で話してくださいました。「町会は生きている」「町会の絆の輪が広がっている」と役員の方々の率先垂範の振

る舞いに、改めて感謝したい気持ちでした。③病院、医院が多い ④町の雰囲気が良いなど、主に生活圏での物理的な面を取り上げておられるようでした。しかし、私たち夫婦がぶらぶら散歩して感じる限り、この町は「花いっぱい美しい・きれいな町、互いに愛し合っている町」をつけ加えたいと思います。

その一方で、残念ながら、まだ「ゴミ」の不法投棄やたばこ、空き缶のポイ捨ても見られます（写真③）。町会の皆さんで、さらに美しい町づくりに努力したいものです。（石栗正夫）



モラルを守りきれいな町に

「住みよい町」を誇りに
そして思うことは、平成20年に実施したアンケート調査結果のことです。「この町は住みよいか」との設問に、95%の方が「住みよい」と答えています。理由として①商店が近く物価が安い ②駅が近い

日焼けで赤銅色の顔、低い声に張りがあり、子どもを見つめる目は優しさにあふれています。昭和52年以来33年間、大谷戸小田中子ども会野球部を率いてきた。「私自身、野球少年の経験があり、何よりも子どもが大好きなものですから」と監督就任の動機を語る。現在二人のお孫さんもチームで練習に励んでいる。

また、昨年、かつて小田中のチームで活躍した高校球児が甲子園に出場、「チームの子供たちに夢と希望を与えてくれた」と誇らしい。現在68歳。「子ども達から元気をもらい仕事のエネルギーにもなっています」。野球少年との触れ合いは、監督の若々しい心と身体の源泉のようだ。

わが町の誇り 齊藤幸次さん

「野球を通じて健全な人格形成を育むこと」がチームの基本方針。挨拶の励行、思いやりのある心を持つなど、しつけにも配慮。一方、実力主義を取り入れ「努力に無駄はない」と教えている。平成2年の県大会では3回戦まで勝ち進み、同10年中原区大会では、春・夏・秋の優勝を独占した。同10年・11年と連続で優勝旗5本を獲得し、輝かしい成績を残したことも記憶に新しい。